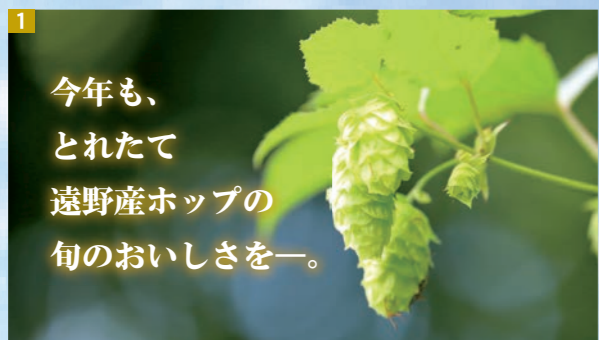


9月16日 キリン一番搾り仕込み式

ビールの魂投入、仕込み開始

遠野産ホップを使って造られる「一番搾りとれたてホップ生ビール」の仕込み式は9月16日、仙台市のキリンビール仙台工場で開催されました。式には、本山市長や遠野ホップ農業協同組合の菊池一勇代表理事組合長、キリン関係者らが出席。発売17年目を迎える同生ビールの生産開始を祝いました。ビールの原料となるホップは、収穫後24時間以内に同仙台工場に出荷。急速冷凍した生ホップと麦汁の一番搾りのみを使うことで、フルーティーでみずみずしいホップの風味と麦のうまさを味わえるビールが生まれます。同生ビールは、11月4日から全国販売される予定です。



今年も、とれたて遠野産ホップの旬のおいしさを一。



1~4 遠野産ホップの収穫から出荷までの様子。今年も良質なホップに仕上がっています。5 煮沸釜に遠野産ホップを投入する本山市長。6 本年のとれたてホップ生ビールラベル



9月15~30日 アイオン台風被害写真展

過去の災害伝える貴重な資料展示

1948(昭和23)年9月に本市全域に甚大な被害をもたらしたアイオン台風の被害写真展が、市役所本庁舎多目的市民ホールで開催されました。同写真展は、過去の災害の記録



被害を受けた当時の写真を眺める来場者

に接し防災への理解を深めてもらおうと、岩手南部森林管理署遠野支署が開催。来場者は、当時の貴重な資料を眺め、防災意識を高めました。

9月16日 大野ゴム工業(株)デリバリーセンター開所式

世界へつながる物流新拠点

大野ゴム工業株式会社(東京都、大野洋一社長)の製品保管と輸出を行う同社デリバリーセンターが松崎町に完成。同所で開所式が開かれ、施設の完成を祝いました。同センターの管理と物流業務は株式会



完成をテープカットで祝う大野社長(左)ら

社ビッグフィールド(池田美穂社長)が担い、東北横断道と釜石港を活用して国内外へ製品を輸出する予定です。

9月22日 家族らに囲まれて長寿を祝う

宮守町の多田ツマさん100歳

ツマさんの100歳を祝う会が自宅で開かれ、家族らが祝福しました。大正9年に同町達首で生まれたツマさんは、17歳で義一さん(故人)と結婚。農業などに励みなが



祝福を受けてほほ笑むツマさん

ら4人の子どもを育て上げました。現在は、孫10人、ひ孫17人、玄孫5人に恵まれ、にぎやかな雰囲気の中、自宅で元気に過ごしています。

8月31日 第22回「わたしの主張遠野地区大会」

中学生が思いを込めて主張

同大会はみやもりホールで開かれ、市内中学校から8人が参加しました。最優秀賞は、「新時代を強く生きていく~これから始まる私の道~」と題して発表した菊池恭護さん(遠野東中3)。



感情豊かに思いを伝えた菊池さん

腎臓病の一種・ネフローゼ症候群と向き合いながら学校生活に全力を尽くす日々と、周囲への感謝を力強く伝えました。

9月10日 遠野緑峰高校でSDGsの授業

食品ロス、どう減らす？

同校生産技術科生活文化コースの10人は、食品ロスをテーマに国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs」の考え方を学習。企業・消費者それぞれの立場から食品ロスを防



たくさんのアイデアを書き出しました

ぐ方法を考えました。生徒らは、予約販売の促進や家庭での食品保存量管理などのアイデアを共有しながら学びを深めました。

8月29日 遠野高校「鍋城祭~Power of Smile~」

コロナ禍、創意工夫凝らした鍋城祭

鍋城祭は新型コロナ対策を実施しながら生徒のみで開催。例年と違う状況を、生徒会が中心になって創意工夫を重ね、各教室をテーマパークの世界にしました。体育館では文化部の発表も開かれ、邦楽・音楽・吹奏楽部などが活躍のステージを演出。会場に笑顔が広がりました。

1・2 文化部3年生は高校最後の演奏ステージ発表。全学年で盛り上げました。3 生徒が授業で作った作品を展示。4・5 クラスごとに黒板アートやオブジェを制作。段ボールや校内の物を使って生徒が1日で仕上げました



8月22日 第34回遠野市少年消防クラブ防火野球大会

防火を誓って白球を追う

同大会は、クラブ員の健全な成長と防火思想の普及を目的に遠野運動公園で開催。開会式で、土淵野球スポーツ少年団の川久保智尋くんが防火の誓いを朗唱。市内6チーム



サヨナラヒットを打った一倉真真くん

の選手たちが懸命に白球を追いかけてきました。決勝戦は小友ベアーズが綾織野球スポーツ少年団を4対3で下し、優勝を果たしました。

9月8日 復興五輪出前スクール2020「復興五輪を楽しもう」

オリパラ大会の意義学ぶ

復興五輪への興味関心を高めてもらおうと東京五輪・パラリンピックの県実行委員会が、鱒沢小学校で同スクールを県内初開催しました。同校3~6年生17人が参加。五輪



トーチを手に聖火リレーを模擬体験する児童

の歴史や豆知識を題材にしたクイズのほか、聖火リレーやパラスポーツ体験などを通じて、楽しみながら復興五輪への興味関心を高めました。